

陸奥宗光 「陸奥宗光書簡」

明治17 (1884) 年6月1

6日

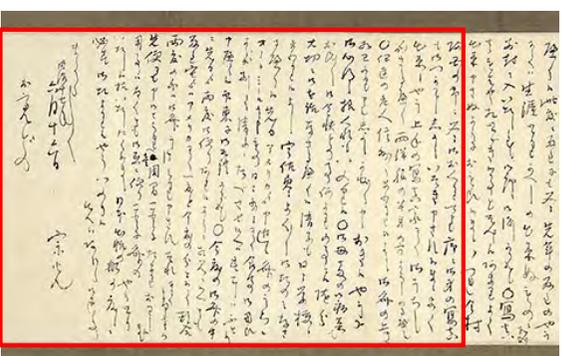
ついで おんみ

帰国の節に又々御おくり可申候、序に御身の写真も御つかわし、しかしいそき申さす候まゝ、よく

出来候やう、上手の写真家にて御うち ママし

成さるへく。西洋服の半身の方よろしかるへし。

(中略)



いっしゅうかん

先便にも申候とうり、壹週間 たよ ことにたよりおわし候まゝ、

用事はなくとも御互に便りことに文のやりとり

ゆえ

いたし候様いたしたく候故、日本出帆の船の度に

まず

必ず御たより候やういのり候、先は何分御返事

まで。草々

明治十七年

六月十六日

宗光

お亮どの